

講義・演習概要（シラバス）

第 1 部課程第 121 期（平成 25 年 10 月 24 日～平成 26 年 3 月 18 日）

課 目 名	自治体行政学
時 限 数	12 時限
担 当 講 師	東京大学名誉教授 大森 彌（行政学・地方自治論） ＜プロフィール＞ 1940 年 東京都生まれ 1968 年 東京大学大学院博士課程修了、法学博士 1971 年 東京大学教養学部助教授 1984 年 東京大学教養学部教授 1997 年 東京大学大学院総合文化研究科長・教養学部長 2000 年 千葉大学法経学部教授、東京大学名誉教授 2005 年 千葉大学定年退職
ね ら い	政権交代と地方分権改革、マニフェスト選挙と政策運営、地方自治法の改正、地方議会改革、道州制基本法案、少子高齢化と「協働」の台頭など、地方自治の潮流には大きな変化が見られる。本講義では、このような変化の諸相を概観し、自治体行政の役割と課題について理解を深める。
講 義 概 要	1. 地方自治への視点―対等・協力、補完性の原理と近接性 2. 政権交代と分権改革―分権型国家への道 3. 自治体行政の課題―人口減・少子高齢社会への対応 4. 都道府県と市町村の関係―大都市制度と小規模市町村、道州制 5. 公選職と職員―首長・議会と政策形成 6. 職場組織と人事評価―大部屋主義と人事システムの確立 7. 管理職の役割―「人組みは人の心組み」
受講上の注意	特になし。
使 用 教 材	最近の著書 3 冊 『政権交代と自治の潮流』（第一法規、2011 年）、『変化に挑戦する自治体』（第一法規、2008 年）、『官のシステム』（東京大学出版会、2006 年）
効 果 測 定	なし。
そ の 他 (他の課目との関連)	「地方自治制度の課題」